

## 試作・評価ステージ

ROMの代わりにSDCONFをSelectMapやFPPポートに接続

- ① 更新論理データのアップデート時間が飛躍的に短縮。
- ② 論理データ版数を瞬間に切り替え、コンフィグ実行。
- ③ bitデータのMailやクラウドによる一斉配信や同期。  
分散開発のアップデートが容易。

時間、設備、人件費の大幅なコストダウンが可能。

## 量産ステージ(出荷書込)

SDCONFを常設せずに、専用コネクタや空き端子、JTagポートを利用してSDCONFからROMを更新。

- ① SPIなどのROMとFPGA間にコネクタを設置し、SDCONFから直接ROMに書き込む方法。
- ② ROM書き込み論理を予めコンフィグし、SDCONFと通信を行いながらROMに書き込む方法。
  - a. Termなどに接続されているIOピンを介してSDRead機能で通信を行う方法。
  - b. JTAGを介して内部論理とバイパスを形成し、通信を行う方法。

## 保守ステージ

- ① SDCONFを常設して、SDCardを交換。
- ② SDCONFを常設して、SDCardから内蔵Nand/NOR転送。
- ③ JTAGポートを経由してROMを更新。
  - a. SVFを用いてJTAGケーブル接続をエミュレート。
  - b. ROM更新論理をRAM転送し、続けてJTAGを介して更新論理とバイパスを確立し、ハンドシェイクを行いながら書き込みを行う方法。(書込時間短縮可)